

鈴木石橋没後二〇〇年

# 鈴木石橋と 麗澤之舎

—すずきせつぎょうとりたくのや—



鈴木石橋肖像(部分) 西村月松筆 文化13年(1816)

平成27年12月5日(土) - 12月20日(日)

会場 | 鹿沼市民文化センター・多目的ギャラリー (栃木県鹿沼市坂田山2丁目170番地)

時間 | 午前9時から午後5時 ただし最終日は午後3時まで

休館日 | 12月8日(火)、12月15日(火)

入場料 | 無料

主催 | 鹿沼市/鹿沼市教育委員会/(公財)かぬま文化・スポーツ振興財団

後援 | NHK宇都宮放送局/下野新聞社/とちぎテレビ/読売新聞宇都宮支局

鹿沼市教育委員会事務局文化課文化財係

栃木県鹿沼市坂田山2丁目170番地 鹿沼市民文化センター3階

TEL.0289-62-1172

展覧会の詳細は鹿沼市サイトでご覧下さい <http://www.city.kanuma.tochigi.jp>

石橋 200年

検索

鹿沼の知と  
文化の潮流



鈴木石橋没後二〇〇年

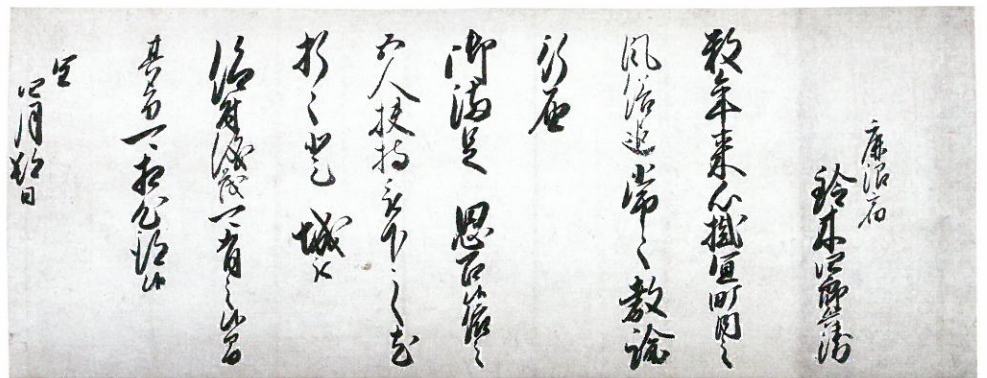
# 鈴木石橋と麗澤之舎

鹿沼の知と文化の潮流

鈴木石橋（せつきょう 一七五四—一八一五）は、江戸時代の下野国（現 栃木県）鹿沼に生まれた学者です。石橋は江戸の昌平黌で学んだ後、鹿沼に私塾・麗澤之舎を開きました。麗澤之舎は「二つの沢は相麗す」意味で、「朋友相交わって学問に励むこと」を理想とし、蒲生君平（一七六八—一八一三）を始め、多くの若者が門を叩きました。

また、石橋は天明の大飢饉の折りに、私財をなげうって多くの民を救済したほか、間引きの悪風に歯止めをかけるために教化活動や救済事業を行いました。これらの功績が認められ、晩年は宇都宮藩に招かれて、藩士の教育にも携わっています。

本展覧会は鈴木石橋の没後二〇〇年を記念し、石橋を中心に、その後続く松亭・水雲の麗澤之舎三代の動向と、麗澤之舎の関わりから鹿沼で多くの学者・文化人が育ったことを紹介するものです。



〔五人扶持及び登城被仰渡書〕寛政12年(1800)  
鈴木石橋がこれまでの功績を認められ、宇都宮藩に招かれたことを示す書状



鈴木水雲肖像 畷田蔡泉筆 制作年不詳



孔子像 磯辺圭齋作 制作年不詳



山水図 作者不詳 制作年不詳 鈴木石橋賛

【関連事業】 関連事業の聴講、参加はすべて無料です

- ◆企画展記念講演会「鈴木石橋研究の最前線」 **要申込**  
12月5日(土) 午後1時30分～午後3時30分 鹿沼市民文化センター・大会議室 定員50名 申込開始日:11月6日(金) 午前9時～  
【講師】阿部 昭(国士館大学名誉教授)／竹末 広美(栃木県立日光明峰高等学校教諭)／阿部 邦男(文学博士・蒲生君平研究家)
- ◆企画展講座「石橋遺稿から読みとく江戸時代の鹿沼」 **要申込**  
12月12日(土) 午後2時～午後3時30分 鹿沼市民文化センター・中会議室 定員15名 申込開始日:11月6日(金) 午前9時～  
【講師】企画展担当職員
- ◆ギャラリー・トーク(資料解説) **申込不要**  
12月19日(土) 午後1時30分～ 鹿沼市民文化センター・多目的ギャラリー  
【講師】企画展担当職員